

令和2年6月分（7件）

【農業・漁業持続化支援金について】

内容	いつも市民のためにご尽力感謝いたします。 南房総市で農業漁業持続化支援金が給付されると新聞の記事を拝見しました。 館山市でも農業漁業は今年の台風からの、まだまだ再建の途中で不安定な時を過ごしております。 館山市では今後、農業漁業に向けた対策は講じていただけないのでしょうか？ 【R2. 6. 1 受理】
回答	今年の台風被害に続き、このたびの新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、館山市においては、農業・漁業をはじめ、観光業や商工業など様々な分野において影響が続いております。 農業では花卉や野菜、果物など、漁業では鮮魚やサザエ、アワビなどで価格の下落などが続いている状況です。 お問い合わせの農業者や漁業者への支援についてですが、経済産業省の持続化給付金による支援が開始されているほか、農林水産省におきましても、各種の施策が公表されつつあります。 館山市といたしましても、館山市全体の経済対策を進める中で、農・漁業者の方々からこれからも継続して事業に取り組んでいけるよう、国の支援策も見据えながら必要な支援の検討をしてみたいと考えています。 【R2. 6. 3 回答】

【特別給付金等について】

内容	山梨県北杜市は2日、新型コロナウイルス感染症対策の「支えあい北杜！心がつながる応援プロジェクト」の第2弾として、市民に一律5万円の商品券と3万円の現金を給付するなどの施策を発表した。 商品券は「心がつながる応援券」。市内の全事業所が対象のものから、自粛の影響を受けた観光や宿泊、飲食業に限り使えるものまで3種類を組み合わせる。8月実施を予定する。3万円は「心がつながる応援金」で9月ごろ給付する。 そのほか、「おでかけキャンペーン」として市民バスを3カ月無料にする。18歳未満の子どもを持つ親を支援する「お母さん、お父さん応援給付金」として1世帯に5千円、保育園に入園していない子どもがいればさらに「おうちで保育応援給付金」5千円をそれぞれ給付する。 館山市でも何かしらの給付を切にお願いしたいです。 【R2. 6. 3 受理】
回答	このたびの新型コロナウイルス感染症に関する支援については、国が行う特別定額給付金や子育て世帯への臨時特別給付金、事業者を対象とした持続化給付金などのほか、各自治体においてそれぞれ独自の支援策を行っているのはご指摘のとおりです。 館山市においても、運転資金や設備投資のために融資を受けた際の利子補給や元金の助成、中小企業等への家賃支援などをおこなっています。 ご指摘の支援につきましても、今後行われる国の第2次補正予算などの行方もみながら、その緊急性や効果を含め検討してみたいと考えています。 【R2. 6. 9 回答】

【海水浴場の不設定と駐車場の解放について】

内容	沖ノ島を除いて海岸の駐車場を解放しましたが、海水浴場は不設定とのことですが、海水浴場不設定→ライフガード不在の中の、駐車場が開いていたら泳ぎに来る人、遊びに来る人がたくさん来ることが予想されます。 海水浴場不設定→事故が起きてても自己責任なので知りません。というスタンスなのでですか？ また、駐車場を解放した新井の海岸は毎年ジェットスキーの人達がたくさん来ています。ジェットスキーで沖ノ島まで来る人もたくさんいます。沖ノ島へのアクセス道路を閉鎖し人があまりいない中、海からアクセスできる人が集まり、無法地帯になることは予想できませんか？ その辺の市としての考え方、方針をお聞かせください。 【R2. 6. 10 受理】
回答	海水浴場は不開設としましたが、安全対策については、海岸の管理者である千葉県を含め、海上保安庁や安房消防、館山警察署など関係機関とともに対策を検討しており、去る6月5日には関係機関と安全対策会議を開催し、対応について協議いたしました。 また、ご指摘の水上オートバイについては、先日の安全対策会議においても課題であるとされており、海岸への車両乗り入れ制限を含め、現在関係機関においてその対策を検討しているところです。 元来、海岸は自由に使用できる一方で、その責任については利用者にあるとされていますが、館山市としても、海岸のパトロールによる注意の呼び掛けや看板の設置など、可能な範囲での安全対策を実施したいと考えています。 【R2. 6. 16 回答】

【食のまちづくり拠点について】

内容	食のまちづくり拠点についての事です。九重のおどや近くに出来る方向なのでしょうか？ 交通の便なども考えるとあまり良い場所では無いように感じてしまいます。沢山お客さんが来るようになった場合館野方面からは混んでる事も多く渋滞も懸念されます。市有地で設備が整っていたとしても一度民設民営で実現しなかった、採算がとれないような案件であるならば改めて場所の検討を一から見直して欲しいと思います。 船形バイパスを通すと言うので有ればせめてその流れを活かして海沿いにある既存の施設を使うか建てるかした方が港湾エリアを活性化するという話とも整合性があると思いました。前澤さんから寄付して頂いた大金ですから大事に効果的に使って頂きたいと思います。 【R2. 6. 22 受理】
回答	現在計画している食の拠点施設用地についてですが、この用地は現在、館山市の市有地となっていますので、用地取得のための資金を投入する必要がないことがメリットになります。 また、過去に「民設民営」で公募した際、各事業者とのヒアリングした結果によると、事業進出が困難な一番の理由は「事業者自ら施設を建設整備する負担と整備後の固定資産維持への負担が大きい」との意見が多い一方で、「市が施設の建設費用を負担してくれれば進出する意欲はある」と回答した事業者もありました。従いまして、今後は施設の整備資金を館山市が拠出する「公設民営」方式を軸に、進出希望事業者との協議に基づき、施設の整備・運営について民間企業のノウハウを活かす官民連携として進める予定です。

	その他地代など様々な条件もありますが、この食の拠点設ける意義は「地元で生産されている多彩な食材を地域内の商工観光事業者に積極的に活用してもらうことで地域の魅力を高める」ために、「物（食材）、人（生産者、事業者、消費者、観光客）、情報（食材情報）とお金が行き交う食の拠点」を目指しており、安房グリーンラインを南房総エリアを縦断する縦軸と見立てて、地元産農産物の活用や体験農業メニューの充実と幹線機能も持たせ、南房総エリアの豊かな農業生産環境や農村（里）の姿も感じ取れる場所としたいと考えています。 具体的には、人が集える駐車場やトイレを完備した上で、物販や飲食を備えた道の駅的機能に加え、加工や新商品（特産品）の開発、地域内外での流通といった「地域商社的機能」を持たせる事で、農産物の販路拡大や農業の6次産業化を進める拠点としての役割を持たせたいと考えています。このためにも、農村地帯の中心部に位置する当該土地は、このような機能を備える拠点としての適地であると考えています。 さらに、このエリアには国指定文化財の「稲村城跡」を中心に里見古道などが点在し、これら里見氏の史跡との関連付けにより、農村に息づく歴史と文化を感じてもらえる仕掛けが出来る場所ともいえます。 このように、これまで館山市が進めてきた海の魅力向上に加え、食の拠点にて里の魅力を醸し出すことで、館山市を含む南房総エリアに興味を持つ観光客や関係人口の増加、ひいては6次産業化といった魅力的な農業への転換と未来に生きる農業従事者の増加を目指していきたいと考えています。 また、ご指摘の国道128号の渋滞対策については、安房グリーンラインを主要アクセス道路と位置づけ、館山自動車道から安房グリーンラインへの交通動線を、看板やナビ、ネット情報など様々な手段を講じる事で、適切に誘導してまいります。さらに、房総半島最南端の白浜につきぬけ、館山市の洲崎方面から館山湾岸へ至る沿岸ルートや、千倉から和田・鴨川方面への観光ルートの基点としてよりアピールできると思います。（現在でも館山以南の安房グリーンラインは、特にバイクライダーのライディングコースとしてとても人気があります。このようなお客様をターゲットとして食の拠点の魅力づくりを狙っても良いと思います。） 以上、少し長くなりましたが、まとめますと、食の拠点の集客力等については、その位置もさることながら、拠点のコンセプトや機能、コンテンツといった要素（中身）が重要なポイントだと捉えていますので、何卒、ご理解、ご協力をお願いいたします。 【R2. 6. 25 回答】
--	---

【前澤基金の使い途について】

内容	前澤さんから寄付して頂いたお金の使い途について、館山市民や市議の方の意見だけでなく、広く他地域からも公募し公開討論のようにして盛り上げていくというプランはいかがでしょうか？前澤さんにも参加して頂ければ注目も集まりますし地元の方だけでは考えつかないような様々な意見が上がると思います。ただ箱物を作るだけではなく継続的且つ効果的に観光振興になるような方策に使って頂きたいと切に願います。 【R2. 6. 22 受理】
回答	同基金の使途については、まずは昨今の新型コロナウイルス感染症の流行による館山市内の経済状況の悪化に対する市独自の緊急経済対策として、「市制度融資の利子及び保証料の補給並びに返済元金助成事業」及び「中小企業等事業所家賃支援事業」の原資として活用し、現在、経済復興に向けて両事業を実施しているところです。 今後、同基金を活用して進めていく事業としては、市民や市議会などの皆様方の参画のもと策定した、館山市総合計画に位置付けられている主要事業である「食のまちづくり」の検討や、「館山夕日桟橋の機能強化」について促進していくこととしています。

	また、今回ご提案をいただきました、同基金を活用しての事業公募については、現在市が補助率1/2、補助限度額100万円にて取り組んでいる「観光振興支援事業補助金」事業について、コロナ後の観光復興を図る観点から、補助率や補助限度額を拡大した中で実施することを検討しており、可能であれば事業採択に係る審査員として前澤友作さんにも参画していただくことで、前澤さんの感性も取り入れていければと考えています。 【R2. 6. 22 回答】
--	---

【バイオジェット・バイオディーゼル燃料を普及させたい。】

内容	バイオジェット・バイオディーゼル燃料を普及させたい。それによって昨年度大型台風を撲滅致しましょう。先ずは、出来る事からです。バス会社の燃料をバイオジェット燃料にいたしましょう。CO2削減目標をすぐにバイオジェット燃料にいたしましょう。 【R2. 6. 23 受理】
回答	ご提案いただきましたバイオマス燃料の活用について、館山市内においては、設備投資などの問題から普及が難しい状況であると認識しておりますが、館山市では、現在、住宅用省エネルギー設備設置への補助金事業を行っているほか、過去には、バイオマス利活用として、生ごみ処理機等購入費補助金制度や、し尿や浄化槽汚泥などの堆肥化等の事業も行い、地球温暖化対策（CO2削減）への取組みを推進しています。 今後も現状の事業を継続しつつ、身近に出来る取組みの実施を検討していきたいと考えています。 【R2. 6. 25 回答】

【無題】

内容	1つ要望があります。 ある企業では社員4万人の抗体検査を行い0.4%が陽性だったそうです。 この検査によって99.6%の方は保菌者では無いことが証明されました。 できれば、病院関係者全員、県・市役所等職員全員、学校の先生全員、飲食店と少しづつ検査の輪を広げていけば、コロナ菌を絶滅できると思います。 コロナ菌がいないにも関わらず過剰にコロナ対策をしていませんか。 保菌者がいないことを確認しないと、いつまでもマスクは外せません。 地元にて抗原検査または抗体検査を行えるようにしてほしいです。 (症状の出ていない保菌者を見つけてください) 【R2. 6. 26 受理】
回答	PCR検査を医療関係者、県、市職員、学校関係者、飲食店関係者と少しずつ広げて実施したらどうかのご要望ですが、ご指摘のとおり、感染者を早期に把握することで感染予防に一定の効果があるものと考えています。 ただ、新型コロナウイルスにつきましては、検査をし、その時点で陰性だったとしても、その後の感染のリスクが無くなるものではなく、現状では残念ながら予防接種などで感染が予防できるものではありませんので常に感染の危険性はあるものと考えます。 また、国においても感染の確率が低い人への検査体制をどう確立していくか議論されていますが、病院側の体制や医療従事者への負担など、現状の医療体制では、感染している可能性が低い方達を対象を広げてPCR検査を行うことは難しいと考えています。 このようなことから、東京都などでも、濃厚接触者や感染の恐れがある方を対象に検査を行っているところです。 館山市では、幸いにして感染者は報告されていませんが、引き続き、手洗いやマスク

	の着用、3つの密を避ける等の「新しい生活様式」の実践など、感染対策の徹底を市民の皆様と呼びかけ感染予防に努めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いします。
--	---

【R2. 7. 7 回答】